

くら べ  
倉 部 川 水 系  
河川整備基本方針

平成15年3月

石 川 県

# 目 次

## 第 1 章 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

- 1.1 流域及び河川の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 1.2 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針・・・・・・・・・・・・・・ 2

## 第 2 章 河川の整備の基本となるべき事項

- 2.1 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項・・ 4
- 2.2 主要な地点における計画高水流量に関する事項・・・・・・・・・・・・ 4
- 2.3 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する  
事項・・ 5
- 2.4 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に  
関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

## 第1章 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

### 1.1 流域及び河川の概要

倉部川は、加賀平野の農業用水路として石川郡鶴来町明島町地内で七ヶ用水から分派した後、鶴来町及び松任市街地を北流し、松任市倉部町地先の河口で支川屋越川を合流して日本海へ注ぐ流域面積約 17.5km<sup>2</sup>、幹川流路延長約 3.1km の二級河川である。

その流域は鶴来町及び松任市にまたがり、その大部分にあたる松任市は古くは米作地帯の中心地であり早場米の産地として知られてきたが、昭和 45 年の市制以降は県都金沢市のベッドタウンとして発展している。

流域の地形・地質は、海岸部の砂丘性低地を除けば、手取川が形成した沖積堆積物から成る扇状地性低地となっている。

倉部川は鶴来町地内で中村用水として分派した後、いくつかの用水路に分かれ水田地帯の農業用水路として利用された後、用排水路として松任市街地でいくつかの排水路と合流しながら二級河川倉部川となる。

上流部の水田地帯を流れる区間では、鶴来の山々を背景にコンクリートで造られた水路の中を豊富な水量で流れており、水路の両岸には農道があり、水面と農道の間にはオオバコ、ヨモギ等の植生が見られる。

松任市街地を流れる区間では、いくつかの用水路に分かれた後であるため用水の幅は 2 ~ 3 m 程度となり、工場や民家の背後や道路の横をとところどころ暗渠水路として流れており用水路際に植生はほとんど見られない。

松任市街地を抜けた中流部から下流部では、水田地帯や工業団地の中を北から北西方向に流下した後、大きく西に向きを変え流れており、河岸にはオギ、ススキ、クズ等の植生が見られ、また、中村用水の流末であるため水量は多く、アユ、フナ、ナマズ、ウグイ等の魚類が生息し、サギ等の鳥類も見られる。

河口部は感潮区間となっているため川の流れは遅く、ハマナスの群生する砂丘地をゆったりと横断し日本海に注いでおり、河岸の堤防部にはオギ、ススキ、ヤナギ等の植生やボラ等の魚類が見られる。

河川の水質については、環境基準の水域類型の指定はされていないが、一般水域として西屋川橋及び倉部大橋地点で昭和 49 年から水質測定が行われており、平成 3 年度～平成 12 年度の BOD の年間平均値は、西屋川橋で 1.1～2.4mg/l、倉部大橋で 2.5～4.3mg/l である。

流域の気候は日本海側式気候であり、降雨量は梅雨期及び台風期に多く、金沢地方気象台の年間降水量は約 2,500mm である。

流域における過去の水害としては、昭和 37 年 6 月の集中豪雨では 70 数戸の家屋が浸水し、2 ha の田畑が冠水する等大きな被害が生じた。また、昭和 40 年 9 月の秋雨前線豪雨では、倉部町地域を中心に家屋、田畑の浸水等大きな被害が生じた。その後も、幾度か浸水被害が生じており、近年では、平成 10 年に 2 度の浸水被害が生じており、特に、平成 10 年 9 月の台風 7 号の降雨では、松任市街地を中心に、床上浸水 4 戸、床下浸水 203 戸の大きな被害が生じた。

本水系の治水事業は、昭和 45 年から倉部川河口部及び支川屋越川の倉部川合流点から上流 1,050m の区間について改修工事を実施し、平成元年度に完了した。

また、倉部川についても、平成 4 年度に河口から北陸自動車道までの約 1.9km の区間の掘削、護岸等による改修工事に着手しているが、平成 10 年の台風 7 号により大きな浸水被害が生じている。

河川の利用については、水田地帯を流れるため堤防が農道として利用されているほか、河川水は、農業用水に利用されている。

## 1.2 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

本水系における河川の総合的な保全と利用に関する基本方針としては、昭和 37 年や平成 10 年等に発生した浸水被害の状況、河川利用の現状及び河川環境の保全を考慮し、水源から河口まで一貫した計画のもとに河川の総合的な保全と利用を図る。

さらに、関連地域の社会、経済情勢の発展に即応するよう石川県新長期構想、石川県環境基本計画等との整合を図り、かつ土地改良事業等の関連工事及び既存の水利施設の機能の維持を十分考慮するものとする。

災害の発生の防止又は軽減に関しては、松任市の沿川地域を概ね 50 年に 1 回発生する規模の雨による洪水から防御するため、河道の整備により洪水の安全な流下を図る。あわせて、洪水による被害を最小化するために災害情報伝達体制及び警戒避難体制の整備、関係機関との土地利用計画の調整等、総合的な被害軽減対策を関係機関や地域住民等と連携して推進するよう努める。

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関しては、河川水が農業用水として利用されている状況であるので、関係機関と協力して取水状況の把握などを行い、適正かつ合理的な水利用がなされるように努めるとともに、良好な水環境の保全に努める。また、日常から流況及び魚類の生息状況、河川の汚濁状況の把握に努める。

水質については、今後も河川パトロールを行い河川の監視に努めるとともに、関係機関と連絡調整を図りながらその保全に努めることとする。また、流域住民が河川愛護活動に積極的に参加するよう広報活動に努める。さらに、突発的な水質汚濁に対しては、関係機関と協力してその原因を調査し対策を協議し、適切な対応を行っていく。

また、渇水時には、河川パトロールを強化するとともに、早い段階からその状況を渇水連絡会議などの場で関係者に説明し、利水者にさらに効率的な河川水の利用を促すなど、渇水被害の軽減や河川水の維持に努める。

河川環境の整備と保全に関しては、自然環境及び河川利用実態の把握に努め、堤防部にはススキ等の植生も見られ、アユ等の魚類の生息環境となっていることや河川空間が周辺の田園地帯と調和した郷土の美しい風景、風土を形成していることなどから、その保全などに努める。

河川の維持管理に関しては、災害の発生を防止するための日常の点検や監視を行い、河川環境の整備と保全に配慮しながら必要に応じて堆積土砂の撤去や除草など適切な処置を講じる。また、河川に関する情報を流域住民に幅広く提供することにより、流域住民が河川をより身近に感じ、河川愛護などにも積極的に参加するような住民参加による河川の維持管理を推進する。

## 第2章 河川の整備の基本となるべき事項

### 2.1 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

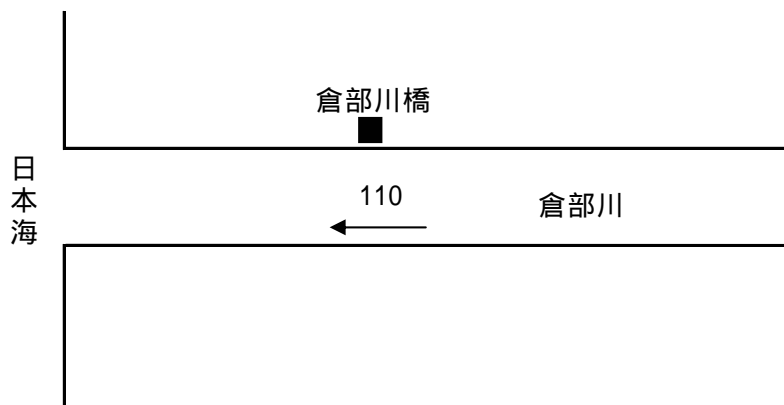
倉部川水系における基本高水は、既往洪水、流域の重要性等を踏まえた結果、そのピーク流量を基準地点倉部川橋において  $110\text{m}^3/\text{s}$  とする。

基本高水のピーク流量等の一覧表 (単位： $\text{m}^3/\text{s}$ )

河川名	基準地点名	基本高水のピーク流量	洪水調節施設による調節流量	河道への配分流量
倉部川	倉部川橋	110	-	110

### 2.2 主要な地点における計画高水流量に関する事項

倉部川における計画高水流量は、倉部川橋地点において  $110\text{m}^3/\text{s}$  とする。



単位： $\text{m}^3/\text{s}$   
：基準地点

計画高水流量配分図

### 2.3 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項

本水系の主要な地点における計画高水位及び概ねの川幅は次のとおりとする。

主要な地点における計画高水位及び概ねの川幅一覧表

河川名	地点名	河口からの距離 (km)	計画高水位 T.P. (m)	川幅 (m)	摘要
倉部川	倉部川橋	0.85	+ 3.13	23	基準地点

注 1) T.P. : 東京湾中等潮位

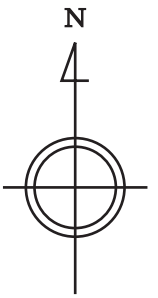
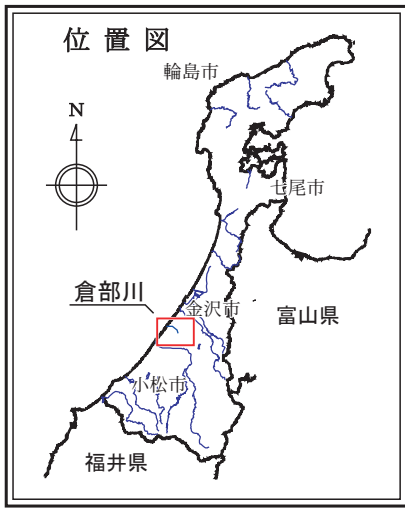
注 2) 計画高水位は国土地理院の昭和 44 年平均成果を基準とした値

### 2.4 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

本水系の水利用としては、慣行水利として灌漑面積約 50ha の農業用水がある。

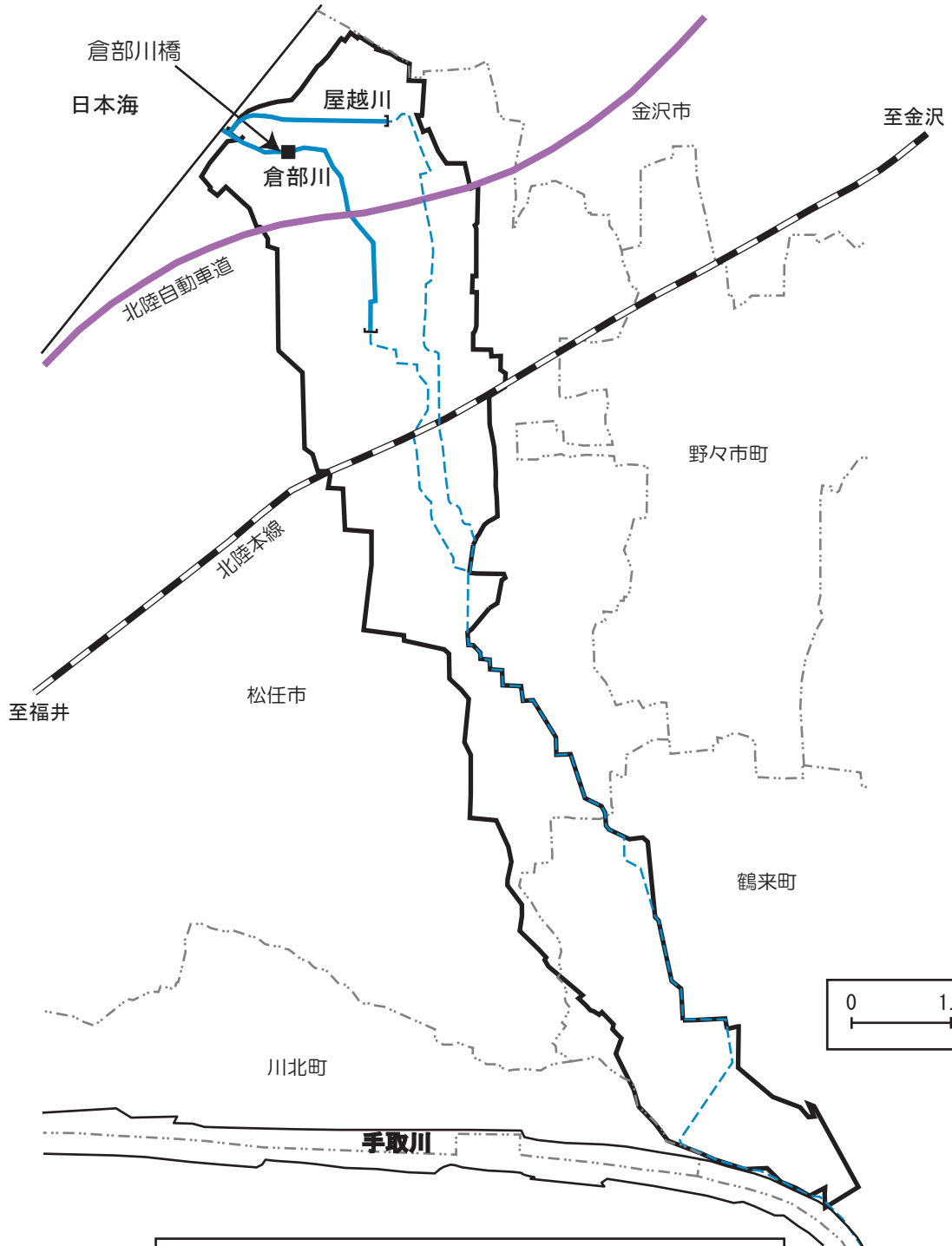
本水系における流況は良好であり、近年の代表的な渇水年である平成 6 年においても、渇水により農業用水の取水に支障が生じていない。

流水の正常な機能を維持するために必要な流量は、今後流況等河川の状況の把握を行い、農業用水の実態、動植物の生息・生育状況、流水の清潔の保持等の観点から調査検討を行ったうえで設定するものとする。



凡例

■	基準地点
-----	市町村界
—	流域界
—	二級河川
- - -	七ヶ用水
—+—	二級河川区域



倉部川水系平面図（参考図）